

名古屋市立苗代小学校の「防災学習」を支援しました



みんなであそぶ土岐川・庄内川
土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

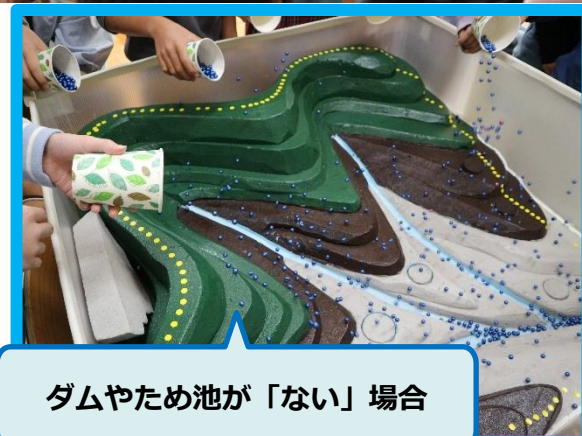
国土交通省
SHONAI RIVER OFFICE

12月1日（月）苗代小学校4年生を対象に実施された防災学習を支援しました。防災学習は2限目と3限目に行われ、当事務所は「水害について考えよう」をテーマに、水害時の危険性や、みんなで取り組む「流域治水」、水害への備え等について説明し、「自分の命は、自分で守る。」という気持ちを持って行動することが大切であることを学んでもらいました。



スクリーンと資料を使って、「みんなで備える土岐川・庄内川の災害」について説明。流域治水検定として問題を出題し、解答にも参加してもらいました。

この防災学習は、災害や安全な行動について学ぶことで、災害時に行動する姿勢を育み、課題対応能力などの熟成を図ることも目的として、庄内川河川事務所のほか、日本赤十字愛知県支部、自衛隊愛知地方協力本部守山分駐所、守山区役所と合同で実施されました。



ダムやため池が「ない」場合



ダムやため池が「ある」場合



流域を形取った模型を使い、ビーズを水に見立てて山に降った雨を再現する実験をととして、ダムやため池などへ降った雨を一時的にためる施設がある場合と、ない場合で、下流に流れる水の量がどれくらい違うのかを視覚的に体験してもらいました。